

表 5-64 から、要望においては、指導の依頼、印刷物や掲示に関する依頼など問題行動への対応が求められていることが分かる。

表 5-63 日本人からの意見（報告）（n=147）※複数回答可

報告に関する意見	回答件数	回答率
ごみの排出方法が不適切（詳細不明）	96	65%
分別に関する問題	28	19%
排出日時に関する問題	11	7%
ごみの散らかり	7	5%
排出場所に関する問題	6	4%
ごみの持ち去り	5	3%
指定袋に関する問題	3	2%
粗大ごみに関する問題	3	2%
不法投棄	3	2%
不衛生	2	1%
その他	8	5%

表 5-64 日本人からの意見（要望）（n=38）※複数回答可

要望に関する意見	回答件数	回答率
印刷物に関する依頼	13	34%
指導依頼	14	37%
掲示物に関する依頼	5	13%
調査依頼	1	3%
その他	6	16%

5-5-8-2 外国人からの意見や要望、問い合わせ

外国人から寄せられる意見としては、29 自治体から 37 件の回答を得た。大まかな分類を図 5-2 に示す。外国人による場合は、問い合わせが多いことが分かる。

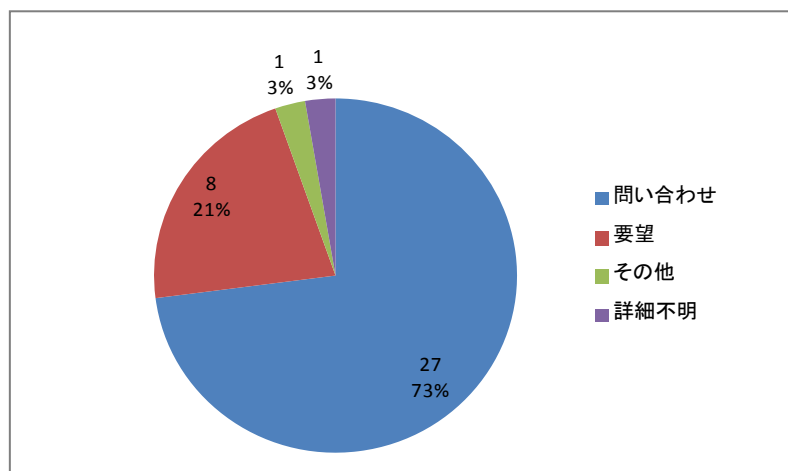


図 5-2 外国人からの意見について（n=29, m=37）

外国人からの意見については、回答が少ないために、回答の一覧を表 5-65 に示す。

表 5-65 外国人からの意見 回答一覧 (n=29, m=37) ※複数回答可

No.	内容	国籍
問い合わせ (27件)		
1	分別に関する問い合わせがあった。	不明
2	分別の種類が多い (6種類)	中国・ベトナム
3	ごみの分別方法について	NA
4	粗大ごみの申し込み	NA
5	外国人の方から、ごみの排出方法についての問い合わせがあった。	不明
6	粗大ごみの排出方法がわからないという問い合わせが多い。	NA
7	分別方法、排出方法などについて質問があった。	韓国、フィリピン、オーストラリア、米国、セントビンセント・グレナディーン
8	粗大ごみや家電リサイクル対象品の出し方がわからない	英語
9	地域住民の方から、ごみの排出が不適切であるとの報告があった。	NA
10	ごみの出し方 (分別方法) がわからない	ブラジル
11	分別方法、排出場所、収集日時での問い合わせ	NA
12	ごみカレンダーの説明	NA
13	ごみの分別に関する問い合わせがあった。	ブラジル
14	日本語が話せる方から問い合わせ等はある。(ゴミ出し方法等)	不明
15	地域住民の方から、分別方法について問い合わせがあった。	NA
16	外国人からの意見や要望ではないが、簡単な日本語での会話が可能な方からごみに関する質問を受けることがある。	NA
17	ごみの分け方・出し方についての問い合わせがある。	NA
18	母国に帰るため、粗大ごみを処理したいとの問い合わせがあった。	中国等
19	日本のごみの出し方が複雑すぎてわからない	中国
20	ごみの分別についての問い合わせがあった。	不明
21	外国人で飲食店を経営する方から、ごみの出し方について問い合わせがあった。事業系一般廃棄物として、一般廃棄物収集運搬業者に依頼するように説明した。	NA
22	排出日	中国?
23	排出場所	英語圏
24	出し方	英語圏
25	引っ越しごみの処理について問い合わせがあった	ブラジル
26	ごみ収集日程表をお持ちでなく、収集日程がわからないという意見が寄せられた。	NA
27	ごみの出し方についての問い合わせ	NA
要望 (8件)		
28	日本語の音なら分かる外国人は多いことから、やさしい日本語或いはローマ字表記のパンフレットの要望。	NA
29	外国人は、絵を見て判断しているので、分別の絵をはっきりしてほしい。(例、テレビにパソコン)	NA
30	詳細に分別したいので、細かい分別一覧表が欲しいとの意見があった。	インド
31	ごみの出し方がわからないので、出し方のチラシがほしいと問い合わせがあった。	複数
32	資源回収の場所がもっと多く身近にほしい	ブラジル
33	英語が話せる方に電話を代わってください。と英語で言われた	NA
34	ベトナム語のパンフレットがほしい (英語ではわからない)	ベトナム
35	地域住民から、ごみ袋への英語表記を要請された。	米国
その他 (1件)		
36	米軍 (軍人軍属) については、町の許可業者が収集運搬しているが、あまりきちんと分別されていない。または、日本では捨てられないようなごみが捨てられているとの報告がある。	NA
詳細不明 (1件)		
37	講座での意見	NA

表 5-65 から、問い合わせとしては、ごみの排出方法に関するものが多いことが分かる。また、引越に伴うごみの処理や印刷物が入手できていなかった場合（26 番）も見られる。

また、要望に関する回答においては、やさしい日本語やローマ字による表記の希望（28 番）、イラストに関する希望（29 番）などが寄せられた。

また、英語では理解出来ないという回答（34 番）も大変貴重であると考えられる。表 5-19 では、副言語としての期待と込めて英語を対応言語に挙げるとの回答が 4 分の 1 で見られたが、英語圏ではない住民に関しては英語が必ずしも理解されるとは限らないのである。

また、詳細な分別一覧表を希望する（30 番）など、表 5-17 に示した、翻訳時に省略されやすい内容に対して、外国人から要望が見られる場合もある。

5-5-8-3 施策に取り入れられた意見

意見の中でも実際に施策に取り入れられた意見について尋ねたところ、45 自治体から 52 件の回答を得た。まず、意見者の内訳について以下の表 5-66 に示す。地域住民（日本人）による意見が多いという結果となった。

表 5-66 施策に取り入れられた意見 意見者内訳（n=45）※複数回答可

意見者内訳	回答件数	回答率
地域住民（日本人）	34	77%
他部署の職員（外国人）	4	9%
担当課の職員（日本人）	3	7%
他部署の職員（日本人）	2	5%
地域住民（外国人）	2	5%
他部署の職員（日本人）	2	5%
回収委託業者（日本人）	1	2%
外国人支援団体などの職員（外国人）	1	2%
大学など学校関係者（日本人）	1	2%
地域住民（国籍不明）	1	2%
その他（詳細不明、日本人）	3	7%

不明などを除き、意見者内訳について国籍別に集計を行った結果を図 5-3 に示す。図 5-3 から、日本人による意見が多く取り入れられていることが分かる。ただし、図 5-1、図 5-2 から分かるように、日本人からの意見が 181 自治体から、外国人からの意見が 29 自治体から報告されている現状を見ると、外国人からの意見が元より少ないことも大きく影響していると考えられる。詳しい回答の内容と施策への反映結果については、付録 7 に記載するので、参考にしてもらいたい。

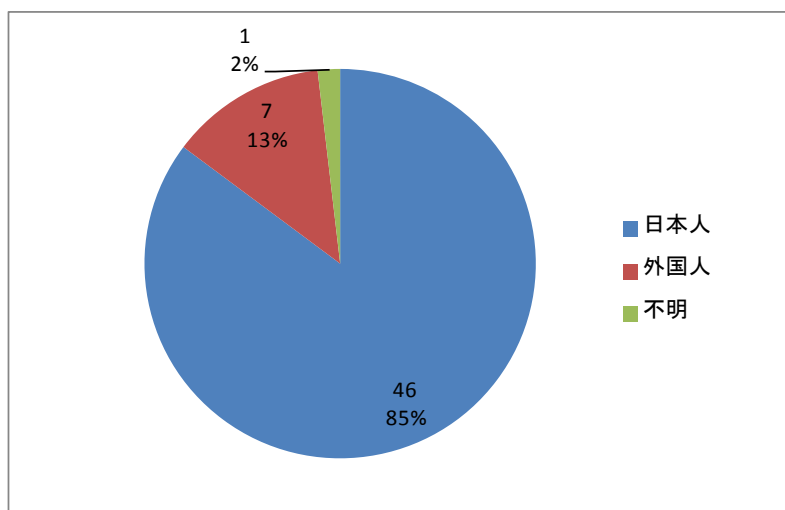


図 5-3 施策に取り入れられた意見 意見者内訳（国籍）（n=45, m=52）

施策への反映結果については分類について、表 5-67 に示す。付録 7 から、意見の内容に関しては、不適切排出に関する報告が多いことが明らかになったが、取り組みとしては、表 5-67 から分かるように、掲示の作成、設置が多い傾向にある。費用対効果などを考えると問題発生場所がはっきりとしている場合は、これらが比較的取り組みやすい施策であると考えられる。その他、誤訳など印刷物の修正や印刷物の作成を始めたという回答も見られる。また、配布を行ったとする回答もあり、印刷物が既に存在するケースでも、行きわたっていない場合があると考えられる。

表 5-67 施策への反映結果（n=45）※複数回答可

施策について	回答件数	回答率
掲示や看板の作成・設置	25	56%
印刷物修正	10	22%
印刷物配布	10	22%
印刷物作成	6	13%
指導	3	7%
委託収集	1	2%
通知文書	1	2%
対応言語増加	1	2%
その他	2	4%

5-5-8-4 問い合わせ以外の外国人の意見を聞く機会

問い合わせ以外に、外国人住民から意見を聞く機会を設けているか尋ねたところ、図 5-4 の結果を得た。多くの自治体が問い合わせ以外では、意見を得ていないことが分かる。その他の回答については、表 5-68 に示す。

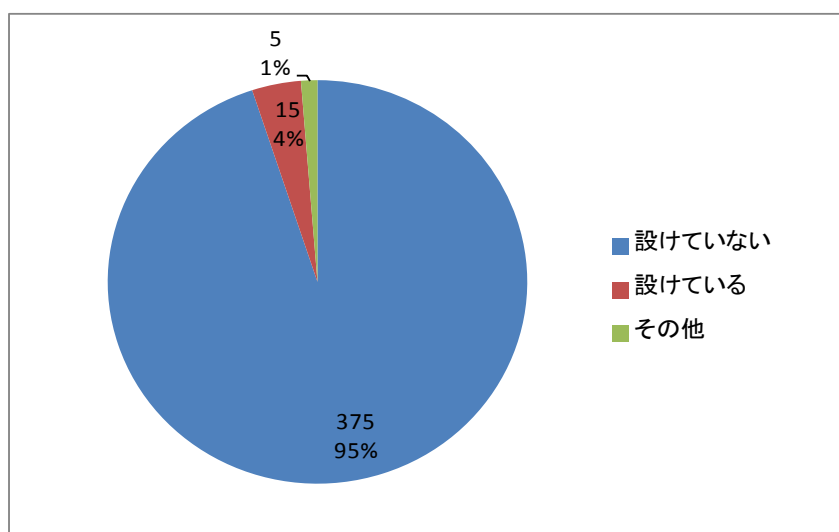


図 5-4 外国人の意見を聞く機会について (n=395)

表 5-68 外国人の意見を聞く機会 (その他) (n=5)

No.	外国人の意見を聞く機会 その他
1	臨時で行ったことはある。
2	直接訪問。
3	商工会等の研修会。
4	他部署で実施している。
5	排出方法の説明会開催時に講師として対応。

また、問い合わせ以外に機会があると回答した自治体に、さらにそれらがどのような機会であるか、尋ねたところ、表 5-69 の結果を得た。説明会開催時などが多いという結果になった。

表 5-69 外国人の意見を聞く機会一覧 (n=15)

No.	外国人の意見と聞く機会一覧
1	ゴミ出し講座のときに簡単な意見交換等をしている。
2	市内在住外国人との懇談会
3	出前講座「ごみの分け方・出し方」について職員が説明後、意見・質問を伺っている。
4	外国人技能実習生に対する本市のごみの分別と出しかた講座。
5	入国時の生活全般の説明会
6	日本語専門学校で分別の説明会を開いたとき。
7	まちづくり懇談会 (各地区で開催) など。
8	町内会や自治会等の要望により開催される「ごみ減量化等説明会」において、国籍にかかわらず住民の意見を伺っています。
9	ゴミ出し講座のときに簡単な意見交換等をしている。
10	出前講座等 ※申込制
11	分別の説明会
12	外国人向けの説明会
13	市内大学・短大において留学生を対象とした説明会
14	市が実施するイベント中にアンケートを取る。
15	外国人に限らずであるが、転出時において〇〇市の様々なことに関して意見・感想・評価を求めており、その中にごみに関して項目がある。

表 5-59 の苦慮している点においては、外国人への接触機会が少ないことが困難な点として挙げられている。そこで、これらの自治体を対象にどのように機会を得たかなど、詳細について追加調査を行った。結果を表 5-70 に示す。15 自治体の中、14 自治体から回答を得た。

表 5-70 外国人の意見を聞く機会 追加調査結果 (n=14)

No.	機会	実際の意見の有無	機会詳細	対象	参加者数	開催主催	手法	呼びかけの方法
1	ゴミ出し講座のときに簡単な意見交換等をしている	あり	ゴミ出しに関する説明会	外国人対象	10名	関係者主催のものに外部講師として招かれる	質疑応答	自治体では特になし
2	市内在住外国人との懇談会	あり	懇親会(外国人から事前に寄せられた意見について回答するもの)	外国人対象	約10名	自治体が主催	質疑応答	関係者を通じて
3	出前講座「ごみの分け方・出し方」	あり	ゴミ出しに関する説明会	外国人を対象にしていない	70名(全体377名)	依頼を受けて自治体を実施	質疑応答	自治体HP、自治体広報紙
4	外国人技能実習生に対する本市のごみの分別と出した講座	あり	ゴミ出しに関する説明会	外国人対象	10~20名	依頼を受けて自治体を実施	質疑応答	その他
5	入国時の生活全般の説明会	あり	ゴミ出し以外のテーマも含む説明会	外国人対象	不明	依頼を受けて自治体を実施	質疑応答	特になし
6	日本語専門学校で分別の説明会を開いたとき。	あり	ゴミ出しに関する説明会	外国人対象	120~130名	自治体主催⇒関係者からの依頼	質疑応答	関係者を通じて
7	市が実施するイベント中にアンケートを取る	NA(あり)	ゴミ出し以外のテーマも含む説明会	外国人を対象にしていない	300名(全体3000名)	その他(生涯学習センターが事務局となり、地域のまちづくり推進委員会、福祉施設、外国人市民、外国人市民の支援団体で、実行委員会をつくり、企画、実施しているイベントで実施)	質疑応答(アンケート)	外国人で作る団体へ直接出向いての呼びかけ、イベントの企画に参加してもらっている。(主体的な活動を促す)
8	まちづくり懇談会(各地区で開催)など	外国人参加なし	ゴミ出し以外のテーマも含む説明会	外国人を対象にしていない	外国人の参加見られず(全体199名)	自治体主催	質疑応答	広報紙、ラジオ放送
9	町内会や自治会等の要望により開催される「ごみ減量化等説明会」(国籍問わず)	質疑なし	ゴミ出しに関する説明会	外国人を対象にしていない	不明	依頼を受けて自治体を実施	質疑応答	関係者への呼びかけ
10	大学における出前講座	質疑なし	両方の場合がある	両方の場合がある	74名/不明(全体455名)	関係者主催のものに外部講師として招かれる	質疑応答	関係者を通じて
11	出前講座等 ※申込制	NA(不明)	ゴミ出し以外のテーマも含む説明会	外国人を対象にしていない	不明	依頼を受けて自治体を実施	アンケート	自治体HP、自治体広報紙
12	分別の説明会	NA	ゴミ出しに関する説明会	外国人対象	5~10名	依頼を受けて自治体を実施	質疑応答	対象に限られるため特になし
13	外国人向けの説明会	NA	ゴミ出しに関する説明会	外国人対象	10~50名	関係者主催のものに外部講師として招かれる	NA	NA
14	市内大学・短大において留学生を対象とした説明会	NA	ゴミ出しに関する説明会	外国人対象	約423名	自治体主催	質疑応答	関係者への呼びかけ

表 5-70 から、機会の詳細については、説明会開催時に行うことが多く、手法としても質疑応答の機会を設けるといふものが多いことが分かる。また、呼びかけの方法に関しては、自治体による呼びかけと合わせて、関係者を通じての呼びかけが主な手法として挙げられる。

また、その他、外国人の方を集めるために工夫している点について尋ねたところ、「大学の入学時に行う(オリエンテーションなどを利用する)」、「学校の入学式の日、新入生を対象に行うことが多い」との回答を得た。

このように、関係者からの依頼を受けることが多く、留学生や技能研修生など対象者が明確で、所在を把握しやすい場合が多い。その点、呼びかけにおいては、関係者を通じて外国人に情報が行きわたりやすいと考えられる。そのため、依頼等がない場合においては、自治体が積極的に主催することが難しい可能性がある。ただ、6番の事例のように、開始当初は、市から日本語専門学校に開催を提案していたが、後に学校の方から行事として開催したいとの依頼が

来るようになったという事例もある。

次に、実際に聴取された意見を、表 5-71 に示す。質疑応答の機会が多いため、質問が主であるが、6 番や 22 番の質問などを見ると、日本での「常識」としての習慣が伝わらない可能性が十分にあることが分かる。

特に中国籍住民に関して多くの回答があり、予備ヒアリング調査で得た意見と、外国人からの意見を参考に、中国籍住民に関してまとめると、①収集日時が定まっていることへのとまどいがある（出身地では定まっていない）、②分別の習慣がなく、分別を行うことが困難である、③分別やリサイクルの必要性が理解しにくい、またはモチベーションを保ちにくい（出身地における分別はビンや缶など営利目的である）、④粗大ゴミや家電等の回収に対し、有料であることが理解しがたい（家電などは逆に売って利益を得ていたため）、⑤食用油の処理方法についての考えが異なる（排水溝に流す）、という傾向にあることが分かる。

表 5-71 外国人からの意見・質問など (n=7)

No.	国籍	外国人からの意見・質問など
1	中国	日本のごみ出しのルールが難しい。（出身地では収集日が決まっていない）
2	中国	分別区分がわからない。（「燃やせないごみ」と「ペットブラ」の境界）
3	中国	リサイクルをする理由
4	中国	ごみを分別して捨てる理由
5	中国	家庭から出るごみを燃やしてもよいか。
6	中国	集積所へ市指定のごみ袋（有料）以外でごみを出してもよいか。
7	中国	ごみ袋の大きさについて質問あり。
8	中国	ごみの処理に関し、有料であることが理解しがたい。（びん、かん等資源ごみは個人で売り払うことが多いから）
9	中国	故障したテレビや洗濯機などお金を出して処分しているが逆にもっていくとお金をもらえるところはないのか。
10	中国	古タイヤを買い取ってもらえますか。
11	中国	食用油の処理方法について質問あり。
12	中国	食用油は台所の排水溝から流して捨ててよいのか。
13	ベトナム	日本の分別方法がわかりにくい。
14	ベトナム	母国ではリサイクルシステム（営利目的）が構築されている。
15	ベトナム	ベトナム語に対応したごみの分別冊子を作ってほしい。
16	ベトナム	日本語はひらがなしか読めない。ベトナム語版の「分別大辞典（分別の方法などをまとめた冊子）」があると嬉しい。
17	ベトナム	バイクのオイルの処理方法について質問あり。
18	国籍不明※	ごみをどこにだしていいかわからない。町内会って何かわからない。
19	国籍不明※	自分の国ではごみを分別する習慣がない。日本では分別が複雑すぎてわかりにくい。
20	国籍不明※	多言語の分別表はどこでもらえるのか？
21	国籍不明※	以前、地域のごみステーションに出してはいけないものが出されていた時、外国人がだしたに違いないと決めつけて言われた。
22	国籍不明※	自分たちの国では、町のごみを収集する仕事の人があるので、ごみを捨てないことがその人たちの仕事を奪うことになる。生活するためのルールが違う。
※国籍不明…ただしブラジル・フィリピン・タイ・ベトナム・韓国・中国のいずれか。		

5-5-9 問題行動の解決、改善に至った場合について

外国人の問題行動の中でも、解決もしくは改善に至った場合について、問題行動の内訳とそれらに対する理由を尋ねた。解決について、69 自治体から 171 件、改善については、86 自治体から 252 件の回答を得た。問題行動と解決および改善の理由について、表 5-72、表 5-74 にクロス集計表結果を示す。ここでは、複数の理由の組み合わせが見られた場合、1 事例ずつに分

けて集計を行っている。また、理由の組み合わせについては、解決と改善のそれぞれの場合について、表 5-73、表 5-75 に集計結果を示す。

表 5-72 解決に至った問題行動と解決理由 クロス集計結果 (m=201) ※複数回答可

解決に至った場合について	通関係者の指導	直接指導	多言語啓発	引越者	設置看板	多言語啓発	その他	専用設置	外国人減少	説明会開催	合計
分別がなされていない	24	15	14	6	3			2		1	65
指定日以外の排出	18	11	7	2	2						40
指定場所以外への排出	9	9	1	2	3	1					25
指定袋に関する問題	10	9	3	2	1	1					26
自治会管理の集積所に関する問題	3	3	1				1	1			9
粗大ごみの放棄・放置	2	3	2	1			1				9
不法投棄	2	5	3	2	2	4			1		19
ごみの持ち去り		2									2
その他	2	4									6
合計 (件数)	70	61	31	15	11	8	3	1	1	1	201
合計 (割合)	35%	30%	15%	7%	5%	4%	1%	0%	0%	0%	100%

表 5-73 解決に至った場合 理由の組み合わせ (m=171) ※複数回答可

順位	引越者	外国人減少	専用設置	勤務先回収	多言語啓発	多言語啓発による設置	説明会開催	直接指導	関係者を通じた指導	その他	回答件数	回答率
1								●			57	33%
2								●			54	32%
3					●						20	12%
4	●										10	6%
5						●					3	2%
6								●	●		3	2%
7										●	3	2%
8	●								●		2	1%
9					●	●					2	1%
10	●					●			●		2	1%
11					●	●			●		2	1%
12					●					●	2	1%
13		●									1	1%
14							●				1	1%
15	●				●						1	1%
16			●					●			1	1%
17					●			●			1	1%
18			●		●				●		1	1%
19					●	●		●			1	1%
20					●			●	●		1	1%
21			●						●	●	1	1%
22						●				●	1	1%
23									●	●	1	1%
合計											171	100%

表 5-74 改善に至った問題行動と改善理由 クロス集計結果 (m=378) ※複数回答可

改善に至った場合について	よ刊多 る行言 啓物語 発にの	指通 導じて の者 のを	設やよ多 置看る言 板掲語 の示に	直 接 指 導	引該 つ当 越者 し	ど説 の明 開会 催	そ の 他	ンテ のー 設シ 置ス ヨ	口外 の国 減人 少	戸勤 別務 回先 取の	合 計
分別がなされていない	45	28	16	9	4	4	2		1	1	110
指定日以外の排出	29	17	17	8	4	3	3	1	1		83
指定場所以外への排出	8	7	9	8	3	1		3	1		40
指定袋に関する問題	13	10	11	5	2	2	1	1	1		46
自治会管理の集積所に関する問題	5	6	6	7	2	1		1	1		29
粗大ごみの放棄・放置	5	4	3	4	2	1					19
不法投棄	3	3	4	5	2	1	1	1			20
ごみの持ち去り	3	2	7	13		1	2				28
その他		1		2							3
合計 (件数)	111	78	73	61	19	14	9	7	5	1	378
合計 (割合)	29%	21%	19%	16%	5%	4%	2%	2%	1%	0%	100%

表 5-75 改善に至った場合 理由の組み合わせ (m=252) ※複数回答可

順位	引該 つ当 越者 し	口外 の国 減人 少	ンテ のー 設シ 置ス ヨ	専 用 ス ト ロ 	戸勤 別務 回先 取の	よ刊多 る行言 啓物語 発にの	指通 導じて の者 のを	設やよ多 置看る言 板掲語 の示に	直 接 指 導	ど説 の明 開会 催	そ の 他	回 答 件 数	回 答 率
1						●						53	21%
2											●	46	18%
3									●			28	11%
4								●				23	9%
5						●		●				23	9%
6						●					●	11	4%
7	●											10	4%
8											●	9	4%
9						●		●	●	●		8	3%
10						●			●			7	3%
11									●			6	2%
12	●	●						●			●	5	2%
13								●			●	4	2%
14				●				●			●	4	2%
15				●								3	1%
16	●					●						3	1%
17						●		●			●	3	1%
18						●		●		●		2	0.8%
19					●							1	0.4%
20	●								●			1	0.4%
21						●		●		●	●	1	0.4%
22									●		●	1	0.4%
合計												252	100%

指導や多言語による情報提供が理由において、上位を占めるが、全体の傾向として、解決の場合においては指導が、改善の場合においては多言語による情報提供が多いという結果になった。

そこで、統計的な差について調べるために、表 5-72 および表 5-74 のデータを、次に示す表

5-76のように「報告あり」、「報告なし」に分類し、独立性の検定を行った。なお、実際に分析に使用したデータは、表 5-77 に示すような項目ごとの2×2のクロス集計表を使用している。表 5-78 に項目ごとの結果をまとめる。

表 5-76 解決と改善の理由比較（カイ二乗検定使用データまとめ）（m=201, m=378）

解決、改善理由比較	解決 (m=201)		改善 (m=378)	
	報告あり	報告なし	報告あり	報告なし
該当者の引っ越し	15	186	19	359
外国人人口の減少	1	200	5	373
専用ステーションの設置	3	198	7	371
戸別収集	0	201	1	377
多言語の刊行物による啓発	31	170	111	267
多言語による掲示、看板の設置	11	190	73	305
説明会等の開催	1	200	14	364
直接指導	61	140	61	317
関係者を通じての指導	70	131	78	300
その他	8	193	9	369

表 5-77 カイ二乗検定使用データ例（該当者の引っ越し）（m=201, m=378）

	報告あり	報告なし	合計
解決	15	186	201
改善	19	359	378
合計	34	545	579

表 5-78 解決と改善の理由比較（カイ二乗検定結果）

改善・解決に至った理由	p値	判定
多言語による掲示、看板の設置	0.000	[**]
直接指導	0.000	[**]
関係者を通じての指導	0.000	[**]
多言語の刊行物による啓発	0.000	[**]
説明会等の開催	0.021	[*]
該当者の引っ越し	0.235	[]
その他	0.278	[]
外国人人口の減少	0.351	[]
戸別収集	0.465	[]
専用ステーションの設置	0.752	[]

多言語による情報提供、指導、説明会に関する5項目において、統計的に有意差があることが分かる。また、表 5-79 にそれぞれの報告割合について示す。指導に関しては、解決において報告の割合が高いこと、改善においては多言語による情報提供の割合が高いことが分かる。このことから、改善から解決へのステップを踏むためには、多言語による情報提供に加えて、指導の機会が設けられることが重要であると考えられる。

表 5-79 解決と改善の理由比較（割合）（m=201, m=378）

解決、改善理由比較	解決 (m=201)		改善 (m=378)	
	報告あり	報告なし	報告あり	報告なし
多言語による掲示、看板の設置	5%	95%	19%	81%
直接指導	30%	70%	16%	84%
関係者を通じての指導	35%	65%	21%	79%
多言語の刊行物による啓発	15%	85%	29%	71%
説明会等の開催	0.5%	99.5%	4%	96%

また、表 5-72 と表 5-74 を使用し、問題行動と改善・解決に至った理由に関して、残差分析を行ったところ、解決および改善に関して、それぞれ表 5-80、表 5-81 の結果を得た。

これらの理由以外が、解決、改善に影響がないという訳ではなく、これらの理由が、問題行動と理由（取り組み）の組み合わせの中でも、特に有意であることを示している。指定場所以外への排出に対する専用ステーションの設置など、一定の影響があると考えられる。多言語による情報提供や直接指導が多いことが分かる。

表 5-80 解決に至った問題行動と解決理由（残差分析結果）（m=201）※複数回答可

排出問題行動	解決理由	調整残差	判定
不法投棄	その他の取り組み	2.677	[**]
不法投棄	多言語による掲示、看板の設置	2.054	[*]

表 5-81 改善に至った問題行動と改善理由（残差分析結果）（m=378）※複数回答可

排出問題行動	改善理由	調整残差	判定
ごみの持ち去り	直接指導	3.583	[**]
分別がなされていない	多言語の刊行物による啓発	2.480	[*]
指定場所以外への排出	専用ステーションの設置	2.410	[*]
その他の問題	直接指導	2.000	[*]

5-5-10 工夫している点

情報提供時に工夫している点について尋ねたところ、33 自治体から 40 件の回答を得た。分類ごとの集計結果を表 5-82 に示す。なお、回答の詳細については、付録 8 に示す。

日本語版との比較については、印刷物などにおいて同じ内容の日本語版（もしくは日本語の併記）があると、言語に精通していなくても、説明などがしやすい（示しやすい）という回答である。付録 8 に示した回答一覧においては、配布方法の工夫について、外国人が使用しそうな施設にも設置するという回答（16 番）や、転入時にそのほかの生活情報も含めて、セットにして渡す（13 番）などの工夫が見られた。苦慮する点にもあったように、外国人の居住地はなかなか把握が難しいために、転入時に抑えてしまうのが配布の工夫として重要であると考えられる。

また、説明時の工夫においては、実演を交えての説明が報告されており、興味深い結果とな

っている。また、説明会の内容については、日本では常識と思われている点でも母国との違いを説明する自治体（31 番）や、日本人の性格や日本の社会背景なども説明している自治体（32 番）がある。

日本語版との比較については、他言語に精通していなくても説明しやすいとの利点があり、利便性が高いと考えられる。しかし、日本語の内容をそのまま翻訳することは、内容として不安な部分もある。工夫にも見られるように、日本では常識である部分や分別の必要性など、外国人住民に対して、特に発信することが望まれるものもあるからだ。予算の都合などもあるが、最も良いと考えられるのは、外国人対象の印刷物等を作成した上で、日本語の対応版を添えることであると考えられる。

表 5-82 工夫している点 (n=33) ※複数回答可

工夫している点	回答件数	回答率
日本語版との比較が可能	11	33%
配布時の工夫	10	30%
イラスト・図・写真の使用	7	21%
説明時の工夫	4	12%
簡潔にすること	2	6%
説明会の実施	2	6%
言語の工夫	2	6%
看板の設置	1	3%
対応時の工夫	1	3%

5-5-11 印刷物傾向調査結果

5-5-11-1 提供印刷物について

実際に各自治体から提供されている印刷物に関して、提供協力依頼を行ったところ、124 自治体（78 自治体から現物の提供、46 自治体から電子データ）から提供を得ることができた。一部参考の日本語のみのデータも含めて、併せて、188 種類 516 件の印刷物を入手した。おおまかな分類を以下の図 5-5 に示す。

図 5-5 から、家庭ごみの出し方に関するものが一番多いことが分かる。また形態の特徴として、より詳しい内容を掲載できる冊子は少なく、一覧表が多いことが分かる。次いで多いのが、日程のみを記載した収集日程表となる。日程表の中でも、日付がなく曜日のみを記載するものが日程表の内、3 割ある。次いで、資源ごみや指定袋に関してなど、特定の項目についての啓発チラシが挙げられる。

その他の分類については以下の表 5-83 に示す。なお、これらはいくまで大まかな分類であり、ごみの出し方冊子や一覧表に収集日時などが合わせて掲載されている場合もある（その場合は冊子や一覧表として集計している）。

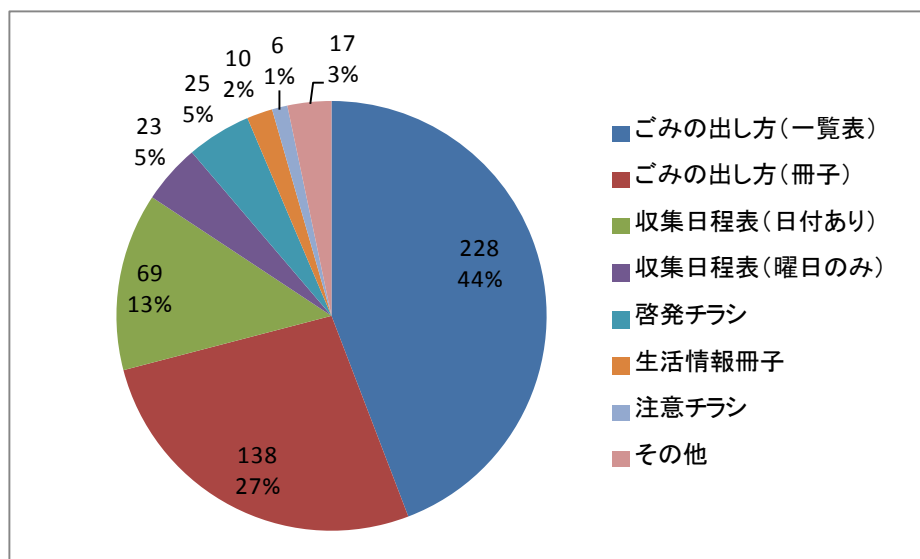


図 5-5 提供印刷物大分類 (m=516)

表 5-83 提供印刷物 その他の回答内訳 (n=10)

自治体No.	件数	その他の回答内訳
1	1	集積所看板
2	1	有害ごみの収集日程
3	1	カレンダーの見方
4	1	エコドーム回収品目
5	1	施設ガイドマップ
6	1	清掃センターパンフ
	1	カレンダーの見方
7	2	年末ごみ
8	2	50音表
9	1	不明
10	5	分別一覧とカレンダー

提供印刷物の中には日本語が併記されているものや、日本語版を入手できているものもあるが、日本語以外の言語情報のみの場合は言語の問題から、詳細の判断が非常に難しくなる。そこで、更なる詳細については本アンケート調査において、内容に関する回答があった印刷物や日本語版や日本語の併記が見られる印刷物を対象とすることにし、111自治体の146種、408件の印刷物（日本語版のみは集計から除外）について調べた。調査対象印刷物については、一覧表を付録10に記載している。なお、英語版、中国語版など言語の違いにより、同じ内容で、複数の印刷物がある場合、それらを1件ずつ集計すると取り扱い言語の多い印刷物と少ない印刷物において、集計に偏りが発生してしまうため、以降の集計においては、印刷物1つ1つではなく、主に種類ごとに集計を行うものとする。

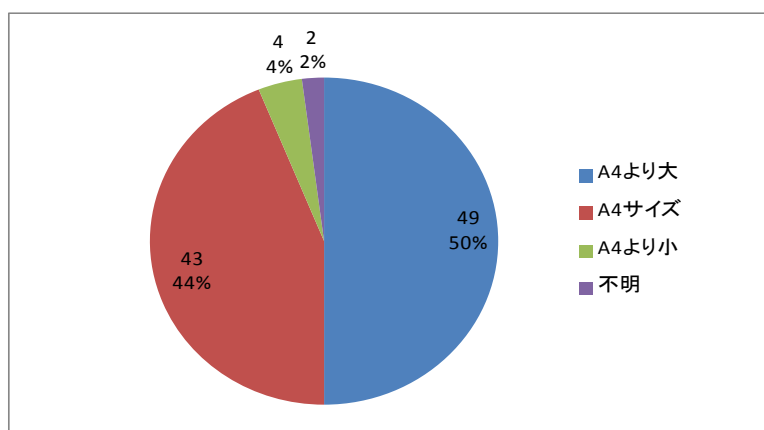


図 5-7 印刷物（現物）の大きさ（98 種類）

さらに、形状とのクロス集計結果を表 5-85 に示す。表 5-85 から、主にポスター状の一枚型において大きなサイズが多く、冊子型では A4 サイズが多いことが分かる。形状によって大きさに違いが見られる結果となった。

表 5-85 形状と大きさクロス集計結果（98 種類）

形状と大きさについて	A4より大	A4サイズ	A4より小	不明	合計
一枚型（両面）	20	5			25
一枚型（片面）	24	1			25
冊子型	2	26	1		29
一枚折りたたみ型	1	5	2		8
カレンダー型		3			3
複数枚型	1	1			2
複数該当	1	1	1		3
不明		1		2	3
合計	49	43	4	2	98

5-5-11-3 ページ数について

次にページ数について述べる。ページ数についても現物のみを対象に集計を行った。なお、ページ数の記載がある場合はそちらに従い、無い場合は独自に数えて集計を行っている（この場合、表紙に情報が含まれる場合はページ数に含むこととしている）。また、生活情報冊子などごみに関する情報だけではない場合や一部のみ多言語対応の場合などは、全体のページ数でなく、該当ページ数のみを集計している。単純集計結果を図 5-8 に示す。一枚型が多いため、1 ページ、2 ページに集中していると考えられる。

また、形状とのクロス集計表を表 5-86 に示す。表 5-86 から、一枚型の影響により 1 ページや 2 ページのものが多く分かる。しかし、冊子型の場合はページ数にばらつきが見られることが分かる。冊子の場合は分別の詳しい内容などが掲載されている場合が多いが、印刷物によってその情報量にも差があると考えられる。

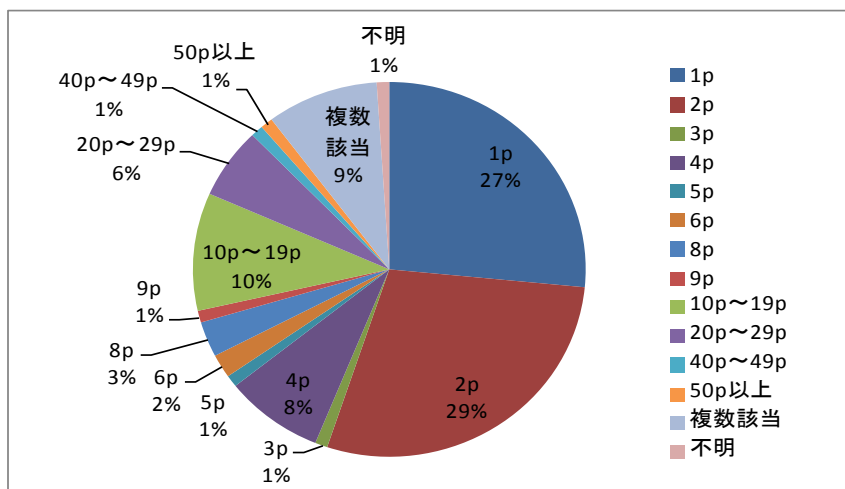


図 5-8 ページ数単純集計結果 (98 種類)

表 5-86 形状とページ数クロス集計結果 (98 種類)

形状とページ数について	1p	2p	3p	4p	5p	6p	8p	9p	10~19p	20~29p	47p	50p	複数該当	不明	合計
カレンダー型	1		1							1					3
一枚型 (片面)	25														25
一枚型 (両面)		25													25
一枚折り畳み型				6		1	1								8
冊子型		1	2		1	2	1	10	5	1	1	5			29
複数枚型		1			1										2
複数該当													3		3
不明		1											1	1	3
合計	26	28	1	8	1	2	3	1	10	6	1	1	9	1	98

さらに、形状ごとの平均ページ数について、表 5-87 にまとめた。なお、1 種類の内に複数の分類に当てはまる場合は、種類内での平均を求めてから、全体の平均として集計している。

表 5-87 形状別平均ページ数 (98 種類)

形状	該当件数	平均
一枚型 (片面)	25	1.00
一枚型 (両面)	25	2.00
冊子型	29	16.11
冊子型 (ごみ専用のガイド)	26	17.51
冊子型 (生活全般ガイド)	3	4.00
一枚折り畳み型	7	4.75
カレンダー型	3	8.00
複数枚型	2	3.50
複数該当	3	5.20
不明	3	2p, 不明, 複数該当
合計	98	

表 5-87 から、ばらつきが見られた冊子型の平均は 16.26 であることが分かる。また、冊子型を内容によってさらに分けると、平均値にもわずかに変化が見られることが分かる

次に生活情報冊子 3 種類における廃棄物情報の全体に占める割合について、表 5-88 に示す。暮らしに関する情報は多岐に渡るためにその割合は少ないものであることが分かる。

表 5-88 生活情報冊子における廃棄物情報の取り扱いについて (n=3)

No.	名称	該当ページ数	総ページ数	割合
1	生活ガイドブック	6	94	6%
2	外国人向け生活ガイドブック	4	72	6%
3	生活ガイド	2	50	4%

さらに、同じ種類の印刷物によっても言語ごとにページ数が異なる場合について調べた。言語ごとにページ数が異なる理由については、①言語ごとに内容を変更している場合、②同じ内容でも言語によって記述が長くなってしまう場合の 2 つが考えられる。これらを考慮しながら、比較を行った。色付けを行っている個所は最もページ数が多かった部分である。なお、今回に限り日本語のみの印刷物についても記載している。結果を表 5-89 に示す。

表 5-89 言語別ページ数の差 (12 種類)

No.	英語	中国語	韓国・朝鮮語	ポルトガル語	スペイン語	タガログ語	日本語	主な理由
1	1	1		2	2			内容
2	2	1						内容
3	15	15		11			47	内容
4	24	20		20		20		内容
5	20	20		20			24	内容
6	12			15				内容
7	27	25	27	22				内容
8	10	10	10	10	10		14	内容
9	2	2	2	2	3			記述
10	7	6		7	8			記述
11				47			37	記述
12	14	13	12	14	17			内容、記述

「内容」は、言語ごとに掲載内容が異なっている場合であり、特に日本語版との差がある 3 番、5 番、8 番においては、いずれも外国語版で内容の省略が見られている。

「記述」は、同じ内容を記述しているにもかかわらず、言語によって長さが異なりページをまたがってしまう場合である。日本語版との情報量の差に関する表 5-17 においても、省略を行う理由として、「英訳を行うと記述が長くなること」など、紙面上の都合による回答が寄せられていたが、表 5-89 から、特にスペイン語、ポルトガル語などで記述が長くなる傾向があることが分かる。また、言語ごとに比べると、韓国・朝鮮語<中国語<英語<ポルトガル語<スペイン語と記述が長くなっていく傾向にある。例えば、11 番では 50 音表のページ数の違いから、ポルトガル語

のページ数が多くなっているが、これらの理由は、同じレイアウトをとっていても、日本語は平均して1ページ当たり30.6項目を記載しているのに対し、ポルトガル語の場合は21.5項目しか記載できていないためである。その他、各事例に関する詳細な判断理由は、付録9に示す。

一方、上記でも触れたように、こうした記述に幅をとる言語は、特にポスターなどの印刷物において、同一のスペース内におさめるために、簡略化が行われている可能性がある。

5-5-11-4 言語の掲載形式

各言語がどのような形式で掲載されているかを調べ、以下の表5-90のように分類した。また、図5-9に分類に関する図説を示す。結果は図5-10に示す。

表 5-90 言語の掲載形式 分類表

分類名	詳細	1ページ当たりの言語掲載数
一言語独立型	1つの媒体に1つの言語のみを使用しているもの	1
日本語併記型	日本語が併記されているもの（1ページに日本語を含む、複数言語が見られる）	複数
やさしい日本語併記型	やさしい日本語が併記されているもの（1ページにやさしい日本語を含む、複数言語が見られる）	複数
多言語混合型	日本語以外の言語が併記されているもの	複数
複数言語独立型	1ページごとに1つの言語を使用しているが、1つの媒体に複数の言語が掲載されているもの。	1
複数言語ページ別独立型	1ページごとに1つの言語を使用しているが、1つの媒体に複数の言語がページごとに掲載されているもの。	1

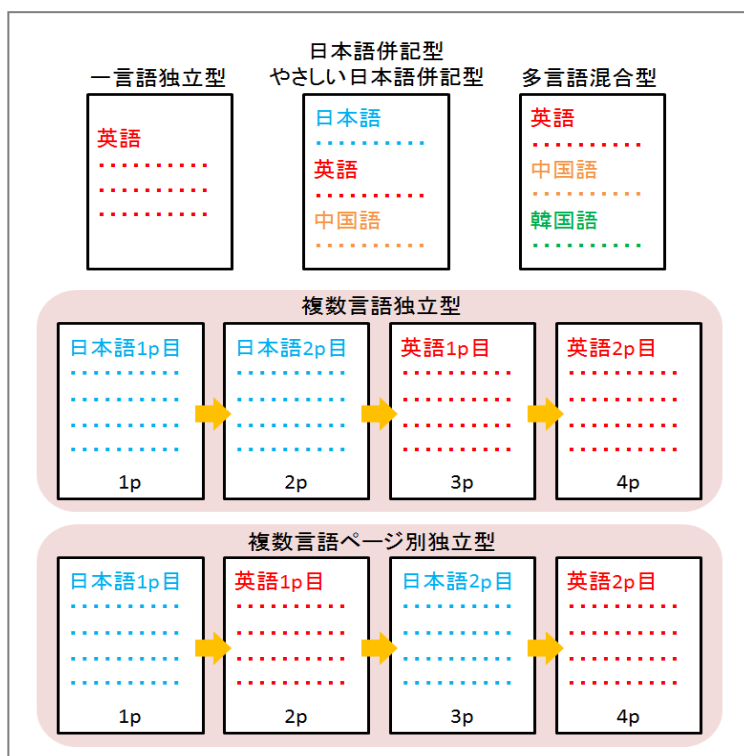


図 5-9 言語の掲載形式図説

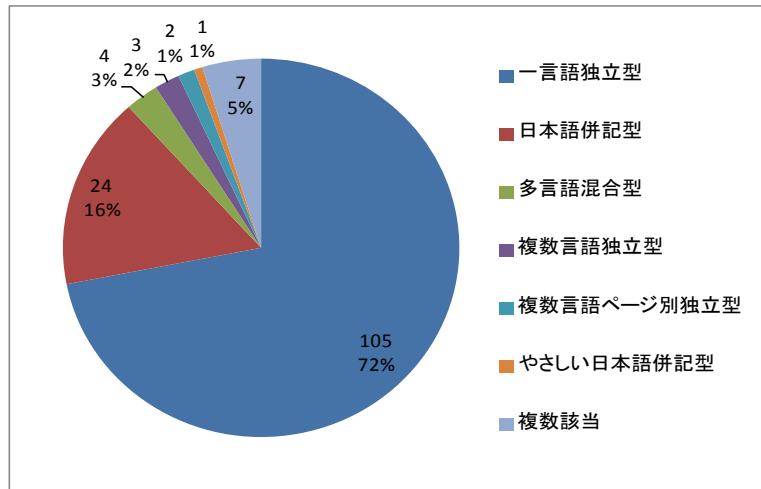


図 5-10 言語の掲載形式 (146 種類)

言語の掲載形式については、146 種類全ての調査を行ったが、①言語によって形式が異なる。②1 つの媒体で様々な形式が見られるなどの理由から、複数項目に該当する場合がある。図 5-10 から、一言語独立型が多いことが分かる。

次に、1 ページ当たりの言語掲載数（日本語含む）を図 5-11 に示す。一言語独立型や複数言語独立型は全て 1 言語になるために 1 言語が多いことが分かる。また、併記が行われている場合は、掲載数が多くなるが、最も多いもので 6 言語であることが分かる。

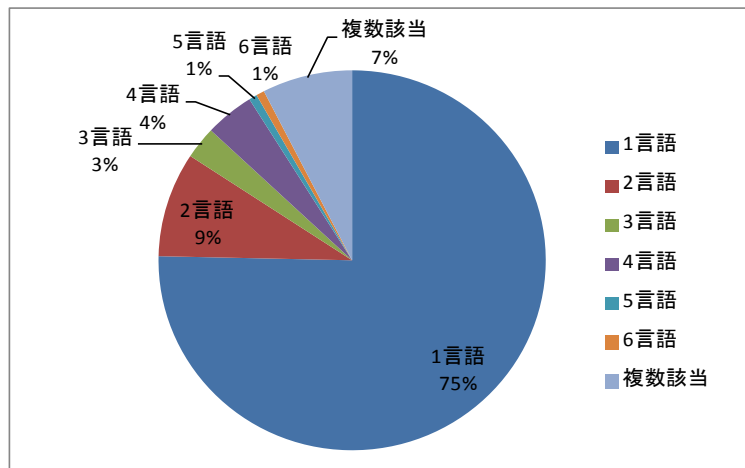


図 5-11 1 ページ当たりの言語掲載数 (146 種類)

5-5-11-5 印刷物の刷り色

印刷物の刷り色について、調べたところ、図 5-12 の結果を得た。現物については、確認において白黒の印刷物であっても、コピーが考えられる場合、HP で確認を行い分類し直している。また、元原稿がカラーであっても提供時には白黒の可能性も考えられる。しかし、多くの印刷

物がフルカラーで作成されていることが分かる。

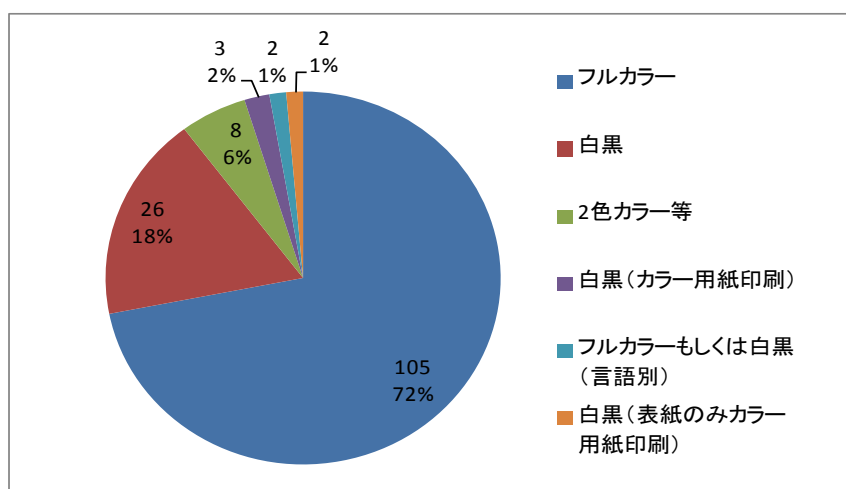


図 5-12 印刷物の刷り色 (146種類)

印刷物がカラー印刷であることは時に理解の助けにもなる。印刷物の中には、日本語の印刷物の補助として作成されるものが見受けられる。日本語版の印刷物をこれらの補助を参照することによって、理解を促進しようというものである。主に日本語版カレンダーの見方などが挙げられ、文字情報に加え、カレンダーの日付部分の色付けや絵などから、日程の理解促進を図っている。深い理解には至らない可能性もあるが、一から外国語版カレンダー等を作成するより負担が少ないと考えられる。また実際の事例について、文字情報以外に手掛かりとなる情報は何か調べたところ、表 5-91 の結果を得た。日本語版に記載される数字や、絵・記号から判断するものなどもあるが、色を分けている印刷物が多く見られ、理解の助けになると考えられる。

表 5-91 補助印刷物における情報の種類 (n=7)

No.	都道府県	市区町村名	名称	色	絵・記号	数字
1	栃木県	那須塩原市	ごみ出しカレンダー (カレンダー見方)	●		
2	埼玉県	草加市	ごみ収集カレンダー (カレンダーの見方付)	●		
3	東京都	八王子市	ごみ資源物 収集カレンダー補助冊子		●	
4	東京都	三鷹市	リサイクルカレンダー	●	●	
5	山梨県	甲斐市	ごみ出しカレンダーに対応した別添翻訳用チラシ			●
6	長野県	須坂市	カレンダー補助一覧表	●		
7	島根県	出雲市	ごみ出しカレンダー (日本語版の見方)		●	

同様の手法は、日本語の印刷物の補助の目的以外にも見られている。事例として、図 5-13 を示す。主に日程表において、多く見受けられる手法であり、細かい項目についてそれぞれ翻訳を行うことで、多くの言語に対応することも可能となる。また、スペースの削減にもなる。



図 5-13 長野県小諸市・「家庭ごみの分け出し方収集日程」20 ページより⁴⁾

5-5-11-6 イラストなどの視覚情報について

次にイラストや写真などの視覚情報（文字情報以外）の取り扱いについて述べる。主に、「イラスト・図」、「写真」、「分別マーク」、「地図」に分けて調査を行った。結果を表 5-92 に示す。なお、イラスト等の情報に関しては、ごみ排出方法などを示すものを対象としており、直接、関係のないと判断したものは集計に加えていない（マスコットキャラクターのイラストなど）。なお、粗大ごみ処理券などはイラストと写真の判別が難しく、写真と断定できる場合のみ、写真に分類している。また、指定袋等の情報については、展開図などが記載されている場合があり、写真との情報量に大きな差はみられないが、今回は表現の手法に着目するために図としてイラストに分類している。表 5-92 から、イラスト・図、各種分別マークなどが多く、写真や地図などの掲載は少ないことが分かる。

表 5-92 視覚情報各項目単純集計結果（146 種類）

視覚情報について	あり		なし	
	該当件数	割合	該当件数	割合
イラスト・図	116	79%	30	21%
写真	32	22%	114	78%
分別マーク	100	68%	46	32%
地図	27	18%	119	82%

次に、これらの組み合わせについて、表 5-93 に調査結果を示す。ただし、地図情報は、搬入場所の施設を示すものであり、搬入ごみに関する掲載状況など内容によって大きく左右される

と考えられる。そのため、地図情報を除いた3つの分類に関して集計を行った。表 5-93 から、「文字-イラスト-マーク」が全体の 45%を占めることが分かる。次いで、全ての項目を含む「文字-イラスト-写真-マーク」が多いという結果となった。文字情報のみの印刷物も見られるが、全体として、文字情報以外の判断の手がかりが積極的に掲載されていることが分かる。

表 5-93 文字情報・視覚情報組み合わせ (146 種類)

表現方法	文字	イラスト・図	写真	マーク	合計	割合
文字-イラスト-マーク	●	●		●	66	45%
文字-イラスト-写真-マーク	●	●	●	●	26	18%
文字情報のみ	●				22	15%
文字-イラスト	●	●			20	14%
文字-マーク	●			●	6	4%
文字-イラスト-写真	●	●	●		4	3%
文字-写真-マーク	●		●	●	2	1%
合計					146	100%

次にイラスト・図と写真の内訳について、それぞれ表 5-94 と表 5-95 に集計結果を示す。大きく、「ごみの区分」を示すもの、「ごみの出し方・方法」を示すもの、「その他」に分類している。

表 5-94 から、イラストにおいては、ごみの区分や、出し方（ペットボトルをすすぐ、缶に穴をあけるなど）などが多く掲載されており、理解の助けになると考えられる。またその他においては、指定袋や警告シールなどの詳細な図が掲載されるなど、工夫が見られている。なお、指定袋については、自治体ごとの特徴などが分かると思われるもののみを集計している。（袋のイラストに「指定袋」とだけ記されているものなどは、「指定袋」の集計に含んでいない。）

また、表 5-95 から、写真について、出し方などは、ライターの出し方や使用済み油の回収場所への出し方の手順を示すものなど、細かい部分や実際の様子をはっきりと示すことが可能となっている。また、その他に分類した部分に関しては、ごみ処理の様子や埋め立て地の写真など啓発に関する情報も載せられている他、施設や回収拠点の外観を示している場合もあり、詳細情報の提供が可能となっている。

表 5-94 イラスト・図の内訳 (116 種) ※複数該当可

分類	該当件数	割合
区分	112	97%
出し方	108	94%
その他	49	43%
ごみ処理券・収入印紙	30	
指定袋（展開図）	15	
指定袋（イラスト）	13	
回収店舗・容器・場所表示	7	
販売店舗掲示	5	
違反ごみ警告シール	2	
リサイクルステーションのポイントカード	1	

表 5-95 写真の内訳 (32 種類) ※複数該当可

分類		該当件数	割合
区分		9	29%
出し方		13	42%
その他		22	71%
	指定袋	12	
	施設や埋め立て上の写真など	7	
	指定袋パッケージ	3	
	ごみ処理券	3	
	生ごみリサイクル専用バケツ	1	
	ごみ処理の様子	1	
	清掃センターへの道順の写真	1	
	不法業者が集めた家電の写真	1	
	生ごみ処理機写真	1	
	回収容器	1	
	ごみステーション内のイベントの様子	1	

全体として、写真による情報提供は比較的少ない結果となったが、イラストにおいても詳細に記されるなどの工夫が見られている。なお、これらの工夫に関しては付録 11 に実際の取り組み例を示す。

5-6 まとめ

本章の目的である、自治体における情報提供の現状（目的 2）に関して、明らかになった点を、以下にまとめる。

問 1 「自治体による情報提供方法の現状はどのようなものか。」

- 1) 情報提供方法としては、印刷物または HP による取り組みが多く見られている。(5-5-1)
- 2) 本アンケート調査においては、6 割の自治体で外国語による印刷物もしくは HP の作成が行われている。(5-5-2-1)
- 3) その他の取り組みについては、3 割の自治体で実施されており、主に説明会やイベントでの説明が取り込まれている。(5-5-2-2)
- 4) 取り組み実施のきっかけについては、その他の取り組みにおいて、印刷物または HP の取り組みより、積極的な理由が挙げられている。いずれにおいても、きっかけの理由として、日本人の要望が外国人の要望を上回っている。(5-5-3-1, 5-5-4-1)
- 5) 印刷物による取り組みが提供する内容については、分別区分や排出方法が主な一方で、分別の必要性や分別後のごみ処理の方法などについての提供は少ない。(5-5-3-3)
- 6) 日本語版との情報量の比較については、多くの自治体そのまま翻訳していると答えているが、簡略化されている場合や、簡略版を翻訳している場合なども見られる。(5-5-3-4)
- 7) 対応言語としては、英語、中国語、ポルトガル語などが多く見られる。(5-5-3-5)
- 8) 翻訳状況については、各言語の使用者による翻訳が最も信頼性が高いと考えられる。また、翻訳作業は廃棄物担当課ではなく、主に委託先の企業や他部署職員によって行われて

いる。(5-5-3-7)

- 9) 翻訳状況について、自動翻訳機能を利用した翻訳について正確さの信頼性が低い傾向が見られる。(5-5-3-7)
- 10) 配布方法については、窓口にて必要に応じて配布という回答が多く見られ、その他にも様々な方法の組み合わせが見られたが、65%の事例においては全戸配布および転入時に必ず配布を含まないことから、外国人全体に必ずしもいきわたらない可能性がある。(5-5-3-8)

問2「他部署や関連団体との連携はどのように行われているか。」

- 1) 主な連携先は他部署であり、内容に関しては、翻訳と助言の依頼が多い。(5-5-5)

問3「問い合わせや相談についてどのような意見が寄せられているか、またそれらに対する対応はどのようなものか。」

- 1) 特に問い合わせがないという意見が6割を占める結果となったが、スタッフがいないために対応に苦慮しているという回答も寄せられている。(5-5-6)
- 2) 常時スタッフがおり、十分な対応が可能であるとする自治体は2件しかないという結果となり、自治体によっては対応が難しい場合がある。(5-5-6)
- 3) 日本人からの意見に関しては、問題発生等の報告が多く見られる。(5-5-8-1)
- 4) 外国人からの意見に関しては、問い合わせが多いという結果となった。また、分別に関する問い合わせが多く見られている。(5-5-8-2)
- 5) 外国人からの意見は日本人に比べ少なく、また問い合わせ以外に外国人の意見を聞く機会を設けている自治体も、回答を得た内、15自治体のみである。(5-5-8-4)

問4「取り組まない場合の理由や、取り組みの課題点は何か。」

- 1) 未実施の理由としては、特に問題となるような行動が見られない、外国人人口が少ないという回答も多く見られたが、人材や予算不足から対応したくても対応できないという回答が見られ、連携して対応できているため取り組み未実施であるという回答は189自治体中2自治体に留まっている。(5-5-7)
- 2) 苦慮している点については、言語の問題や多言語対応が難しいこと、情報を提供する機会がないもしくは少ないことなどが挙げられる。(5-5-7-4)

問5「ごみ排出問題行動の解決もしくは改善がみられた取り組みや、取り組みの工夫点は何か。」

- 1) 改善に至った理由については、多言語による掲示や多言語の刊行物による啓発が多く、解決に至った理由については、直接指導、関係者を通じた指導が多くなっている。(5-5-9)
- 2) 取り組み時の工夫としては、印刷物における回答が多く見られ、日本語版との比較が可能であること、配布時の工夫、イラスト・図・写真の使用などが挙げられている。(5-5-

10)

問6 「現行最も多く取り組まれている取り組みである、印刷物の傾向はどのようなものか」

- 1) 形状については、ポスターのような一枚で情報を確認できるものが最も多く、次いで冊子状が多い。(5-5-11-2)
- 2) 1ページのあたりの大きさはA4サイズが最も多く、特に冊子型で多く見られる。(5-5-11-2)
- 3) ページ数については、1ページもしくは2ページのものが多い。(5-5-11-3)
- 4) 同じ種類の印刷物において言語ごとにページ数が異なる場合、多くは内容が異なるという理由であり、特に日本語から外国語版への移行において簡略化が見られることが分かる。一方で、言語の記述の長さの違いによる影響も見られ、韓国・朝鮮語<中国語<英語<ポルトガル語<スペイン語の順に長くなっていく傾向にある。(5-5-11-3)
- 5) 言語の掲載形式については、一言語独立型が7割を占めるが、日本語が併記されているものも16%確認できる。(5-5-11-4)
- 6) 1ページあたりの言語掲載数は、1言語が主流であり、最高でも6言語となっている。(5-5-11-4)
- 7) 刷り色に関しては、フルカラーが7割を占めるなど多色刷りが多い。(5-5-11-5)
- 8) イラストなどの視覚情報に関しては、イラストや分別マークが積極的に取り入れられており、文字情報のみの提供は、事例の内、15%となった。ただ、写真など実物を利用する例については少ない傾向にある。(5-5-11-6)

以上、自治体などによる情報提供の現状について述べた。次章においては、第四章、第五章の内容を踏まえ、本研究の結論について述べる。

<参考文献>

- 1) みよし市：みよし市ホームページ<<http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp/>>，2015-02-10
- 2) 総務省：住民基本台帳に基づく人口、人口動態および世帯数（平成25年3月31日現在）<http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01gyosei02_02000055.html>，2014-12-11
- 3) 野元弘幸：多文化社会における教養の再構築—外国人住民の非識字問題を中心に—，教育学研究，66(4)，pp.58-59 (1999)
- 4) 長野県小諸市：平成26年度版ごみ・資源収集カレンダー<<http://www.city.komoro.lg.jp/doc/2014022601303/>>，2014-1-22

